

組合員活動 たまり場

鶴岡協立リハビリテーション病院の所属する「医療生活協同組合やまがた」には地域ごとに支部があり、組合員が集まって身体も心も元気にする、様々な活動を行っています。



12月のこの日は朝日支部のたまり場「ひだまり」へ当院、理学療法士が参加してまずは「冬と高血圧」についての学習会。その後は椅子に座った状態で、肩まわりから足裏まで伸ばすストレッチ、棒を使った体操や身体を大きく動かす筋力トレーニングを行いました。

皆さんは、「コグニサイズ」という言葉を耳にしたことはあるでしょうか。英語のコグニション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせるとコグニサイズと名付けられました。全身を動かす運動と頭を動かす問題を同時に行うことで認知機能の維持・向上の効果が期待できるといわれています。例えば…皆で輪になり、足踏みしながら順に野菜や動物の名前を言っていくなど、身体を動かしながら頭を使います。こういったコグニサイズをしたり、おしゃべりをしたり、和やかな時間を過ごしました。



寒さが厳しいこの季節、近所の皆さんで集まって心も身体もあたたまりませんか。

生き生きと暮らせる社会に

院長 茂木紹良

便利な機器や最先端技術の開発が進む一方で、新興再興感染症の出現、地球温暖化に伴う気候変動や地震など自然災害による大規模災害の発生、核戦争の危機等、人類は様々なリスクに直面しています。日本社会全体では高齢化が進み、社会保障のあり方だけでなく、若者の生きがい感の喪失や SDH、貧困問題が顕在化しています。地方の過疎化、人口減少は深刻で、健康・地域格差が広がっています。こうした中、地域包括ケアの一翼を担う私たちは、地域診断や他の法人、他の団体との連携を進めています。

また、私たちは、困窮しても声を上げられず、相談にも出かけられない人々のいる場所に積極的に出向く(アウトリーチ)、必要に応じて行政と交渉する(アドボケート)、ワンストップ総合相談窓口も展開しています。そして私たち一人一人が、人とコミュニティをつなぐ、リンクワーカーとなることを目指しています。

人々が笑顔で暮らせるように、そして多様な人々が共に手を取り合って、すべての人がその人らしい well being を享受しながら生き生きと暮らせる社会を拓くため、リハビリテーション・ケアを展開していきましょう。



水 焔

すいえん

第 21 号 2024.2

理念

障がいがあっても人間の尊厳を持って
生きることを支援する
リハビリテーション医療・介護をめざします

鶴岡協立リハビリテーション病院 広報委員会

〒997-0346
山形県鶴岡市上山添字神明前38
TEL:0235-78-7511 FAX:0235-78-7515
URL: <http://y-mcoop.com/rehabili/>



歩行分析装置
(Gait Judge System)
を使用した歩行評価

理学療法士

《 装具外来 》

義肢装具士

理学療法士

水 焔 名前の由来は？

稲と生命の源である水と、文化の源である火との競演・融合する様を表現した「水焔の能」(榊引地区で毎年7月に開催:2005年病院広報誌開始時点での榊引町ホームページより)表題です。私達の医療・介護が地域に根付き、生命と文化を大切にしたいとの願いをこめて、この表題をつけました。